

景観法届出のチェックシート

【 全 区 域 】

[土地の形質の変更]

届出者の氏名				
行為の場所				
周辺景観の特性				
項 目	基 準	適用	具体的な配慮又は工夫の内容	※適・否
土 地 の 形 質 の 変 更	1. 土石の採取、鉱物の掘採にあたっては、周辺からは目立ちにくいよう、採取等の位置、方法を工夫し、原則として、行為地周辺の緑化を行う。 緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、周辺景観との調和をはかる。	有・無		適・否
	2. 採取、掘削後は、周辺植生と調和した緑化をはかる。	有・無		適・否
	3. 土地の開墾、その他の土地の形質の変更にあたっては、可能な限り現況の地形を活かし、地形の変更を最小限にするなど、長大なり面や擁壁が生じないように配慮する。	有・無		適・否
	4. のり面は可能な限り緩やかな勾配とし、緑化をはかる。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、良好な周辺景観との調和をはかる。	有・無		適・否
	5. 擁壁は、良好な周辺景観と調和した形態、素材とするか、又は前面を緑化するなど配慮する。	有・無		適・否
	6. 原則として、行為地周辺の緑化を行う。緑化にあたっては、郷土種を用いるなど、樹種の選定に配慮し、良好な周辺景観との調和をはかる。	有・無		適・否
	7. 行為地内に歴史的な遺構や良好な樹木等がある場合は、これを可能な限り保全し、活用をはかる。	有・無		適・否
	8. 塀・柵等を設ける場合は、良好な周辺景観との調和に配慮した形態及び意匠とするとともに全体的にバランスのとれた形態及び意匠とする。色彩は、別に定める「色彩に関する景観形成基準」に適合するとともに、良好な周辺景観との調和に配慮する。	有・無		適・否

※ 「適用」欄は、当該基準の適用の必要性の有無について記載して下さい。「適・否」欄は、記載不要です。「具体的な配慮又は工夫の内容」欄は、枠内に収まらない場合は別紙若しくは図面に記載して下さい。